令和6年度

せたがや学生ボランティアフォーラム 報告書

SETAGAYA

せたがや学生ボランティアフォーラム

本イベントについて

世田谷区内で活動する大学生がボランティア活動について発表し、地域の方とつながるイベントです。学生と区の連携・協力による“まちづくり”の促進や、大学生によるボランティア活動に対する区民の理解・関心を深めることを目的としています。

過年度の取り組みについては
下記URLをご参照ください
https://www.city.setagaya.lg.jp/02100/1001.html

開催概要

日時：令和６年11月30日（土曜日）14:00~16:30
場所：北沢タウンホール
共催：せたがや学生ボランティアネットワーク
　　世田谷区/社会福祉法人世田谷ボランティア協会
参加学生団体：13団体 →P7

プログラム

＃１ 活動発表 →P3
＃２ ポスターセッション →P4
＃３ ワークショップ →P5
＃４ ボランティア適性診断 →P6

せたがや学生ボランティアネットワークとは

区内各大学の学生ボランティア活動団体等と区との間でネットワークを作り、大学生による地域でのボランティア活動を推進しています。
また、世田谷ボランティア協会が運営する「おたがいさまbank」を活用しながら、大学生が区や地域とつながり、活躍できる機会を増やし、新たなまちづくりを推進していきます。

#1 活動発表

団体概要　活動内容　成果　今後の展望

メイン企画として「活動発表」を行いました。発表を通じて各団体の取り組みが共有され、参加者の関心を引き出すとともに、新たな視点や気づきを提供する場となりました。

各団体の発表資料は以下から閲覧可能です
https://www.city.setagaya.lg.jp/02100/22187.html

明治大学「ぱれっと」河合舞音さん

私たちぱれっとは、特に準備の段階で自分たちのサークルで1年間何をしてきたかの良い振り返りの機会となりました。今年は大学まわりのごみ拾いや貧困支援だけでなく、初めての試みである江ノ島ビーチクリーンをしたのですが、この活動が今年のサークルの仲の良さに繋がったのかなと考える機会にもなりました。

来場者からの反応にも驚きました。自分たちが当たり前のようにやっていたことが、「自分の街で学生さんがこんなに活躍してくれてると知って誇りに思った」などと評価されたことが非常に嬉しかったです。ボランティアの新たな視点や、同じような活動をされている方のアドバイスなども頂くことができ、今後の活動の糧になりました。

#2 ポスターセッション

学生団体と地域団体のマッチングが生まれる場所

来場者と各団体が直接交流できる場として「ポスターセッション」を実施。地域団体と学生団体がマッチングし、新たなプロジェクトのアイデアが生まれるなど、交流の中から活動が始まる場面も見られました。

明治大学「Relief」飯島勇太さん

ポスターセッションにおいて、僕たちReliefは来場者の皆さんに見ていただけるような華やかさのあるデザインを意識しました。活動実績などをアピールしつつ、事前にメンバーみんなで作った可愛い折り紙たちで飾り付けを行いました。

今年初参加ということもあり、来場者の方々が僕たちのブースを見てどう感じるのか不安ではありましたが、来場者やスタッフの方々に「見やすくて、とても素晴らしい出来映えですね。」と言ってもらえたので、頑張った甲斐がありました。

ポスターセッションでは、NPO等ボランティア団体の方から活動のお誘いをいただくこともあり、ポスターセッションが新たな活動を見いだせる交流の場になっていたと感じました。また、私たちも他団体のポスターセッションを聞きに行き、各団体がどのような活動をしているのか知ることができました。

これからもこのような取り組みに参加し、新たな挑戦を続けていきたいです。

#3 ワークショップ

フォーラムの特徴とは？

学生が中心となって企画・運営すること

今年度は来場者の方々に楽しんでもらえるような企画をやりたいという学生の意見から、新企画としてワークショップを開催しました。学生と来場者の交流も活発に行われ、学びだけでなく、楽しいひとときを提供することができました。ワークショップの内容一覧は以下に掲載しています。

ごみ分別ゲーム	意外と分かりづらいごみ出しのルールをテーマにしたゲーム。分別方法を楽しく学ぶことができました。
フォーラムツリー	SDGs達成に向けた個人ができることを考える場。意見を書きツリーに貼ることで、共有できるようにしました。
献血呼びかけ体験	献血の重要性を学び、呼びかけを体験する参加型ワークショップ。通行人への対応に挑戦しました。
SDGsカードゲーム	カルタを通じてSDGsを学ぶワークショップ。社会課題について理解を深められることができました。
災害クイズ	災害時に役立つ知識をクイズ形式で学べる企画。正解者には景品が贈られ、楽しみながら知識を深めました。
遊びでつながる広場	日本や海外の遊びを体験できるプログラム。異なる言語や文化を楽しめる場となりました。

昭和女子大学「ENVO」久米佑佳さん

フォーラムでのワークショップ開催は今回が初めてであったため、どのような企画を実施するかとても悩みました。私たちENVOは東日本大震災で被災した宮城県女川町と交流を行っているため、被災された方の生の声を聞いてきました。そこで、災害時に身を守るための行動を少しでも多くの方に知っていただくために、災害に焦点をあてたクイズを出題することにしました。

当日までは、参加してくださる方がいるか、上手く実施することが出来るか等、多くの不安がありましたが、来場者の方がたくさん参加してくださり、「知らなかった。」「勉強になった。」と仰っていただきました。

私自身も今回のクイズを作成する上で初めて得た知識もありました。本当に災害が起きた時に自分や周りの人を守るために今後も多くの知識を身につけたいと思います。

#4 ボランティア適性診断

学生発案の新企画

本年度の新しい取り組みとして、「ボランティア活動への関心を高め、適切な活動を見つける手助けをしたい」という目的のもと、ボランティア適性診断を作成し、来場者の皆様に配布いたしました。

以下のURLに掲載しているので、
ぜひお試しください!

https://www.city.setagaya.lg.jp/02100/22187.html

テンプル大学「TUJ COSA」西村知紗さん

テンプル大学 TUJ COSAからは、私が2024年度のフォーラムに参加し、準備段階から当日の運営まで幅広く携わることができました。

ボランティア適性診断は、来場者が自分に合うボランティアを見つけ、各大学の活動に興味を持つきっかけを提供するために作成しました。適性診断の内容や構成を考える工程は、明治大学Reliefの高島さんと駒澤大学学生赤十字奉仕団の吉村さんと協力しました。主に私と吉村さんが内容案、高島さんがフォーマットデザインを作成しました。オンライン会議でスムーズにアイデアを出し合い、とても素敵なものを作り上げることができました。

来場者や関係者の皆さまと交流し、貴重で充実した経験を得られたことに心より感謝いたします。

せたがや学生ボランティアフォーラム
参加学生団体一覧（敬称略・五十音順）

国士館大学
児童教育研究会

駒沢大学
ボランティアサークル

駒沢大学
学生赤十字奉仕団

昭和女子大学
ENVO

昭和女子大学
ボランティア委員会

日本大学文理学部
学生国際ボランティアグループ
Salamat”A”

テンプル大学
TUJ COSA

東京農業大学
ボランティアサークル
いそべや

明治大学
きずなInternational

明治大学
SHIP

明治大学
ぱれっと

明治大学
のえる

明治大学
Relief

各団体の詳しい情報を
知りたい方は以下を検索

せたがや学生ボランティアネットワーク

令和6年度

せたがや学生ボランティアフォーラム 報告書

報告書をご覧いただき、ありがとうございます。私は昨年からこのイベントに参加していますが、今年は規模や参加団体数がさらに増え、一層活気に満ちた催しとなったと感じています。このように、ボランティアサークルを運営する学生や地域団体の皆様が交流できる機会は非常に貴重であり、開催意義は大変大きいと感じております。イベントの実現にご尽力いただいた世田谷ボランティア協会をはじめ、地域の皆様に心より感謝申し上げます。

作成：明治大学「Relief」高島一樹

お問合せ先

学生ボランティアとの連携を検討している方は、
ぜひ社会福祉法人世田谷ボランティア協会へお問い合わせください。
https://www.otagaisama.or.jp